

東武鉄道 経営企画本部ＩＲ室 吉田でございます。
本日は、よろしくお願いいたします。

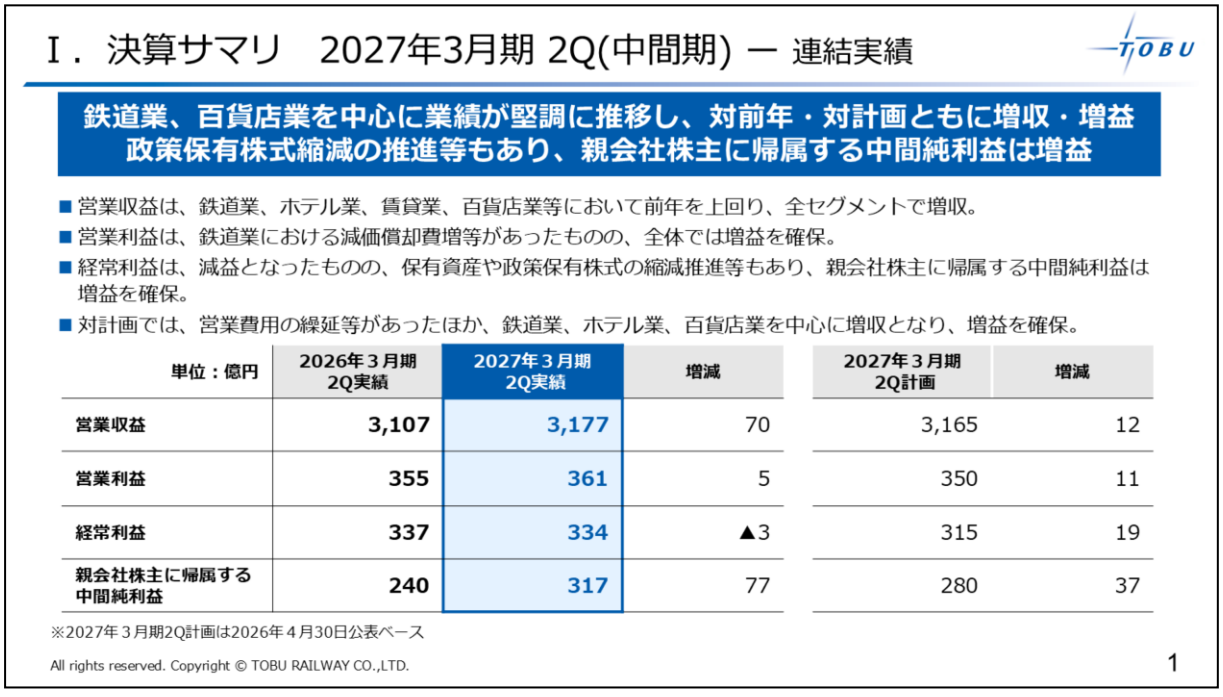
決算のご説明に入る前に、
8月20日に東武日光線新鹿沼駅構内で発生した事故について、お話させていただきます。
お亡くなりになられました４名の方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、
ご遺族の皆様に心よりお悔やみ申し上げます。
また、関係する方々にご心配とご迷惑をお掛けしておりますこと、深くお詫び申し上げます。

引き続き、警察や運輸安全委員会の捜査・調査に全面的に協力するとともに、
事故の原因究明と再発防止策の策定を進めてまいります。

それでは、第２四半期決算と通期見通しに関し、ご説明いたします。

本日15時30分、弊社は、2027年3月期 第2四半期決算を発表いたしました。
ここでは、決算補足説明資料に沿って、その概要をご説明いたします。

それでは、説明に入りたいと思います。



Ⅰ．決算サマリ　2027年3月期 2Q(中間期) ー 連結実績

鉄道業、百貨店業を中心に業績が堅調に推移し、対前年・対計画ともに増収・増益
政策保有株式縮減の推進等もあり、親会社株主に帰属する中間純利益は増益

- 営業収益は、鉄道業、ホテル業、賃貸業、百貨店業等において前年を上回り、全セグメントで増収。
- 営業利益は、鉄道業における減価償却費増等があったものの、全体では増益を確保。
- 経常利益は、減益となったものの、保有資産や政策保有株式の縮減推進等もあり、親会社株主に帰属する中間純利益は増益を確保。
- 対計画では、営業費用の繰延等があったほか、鉄道業、ホテル業、百貨店業を中心に増収となり、増益を確保。

単位：億円	2026年３月期 2Q実績	2027年３月期 2Q実績	増減	2027年３月期 2Q計画	増減
営業収益	3,107	3,177	70	3,165	12
営業利益	355	361	5	350	11
経常利益	337	334	▲3	315	19
親会社株主に帰属する中間純利益	240	317	77	280	37

※2027年３月期2Q計画は2026年４月30日公表ベース

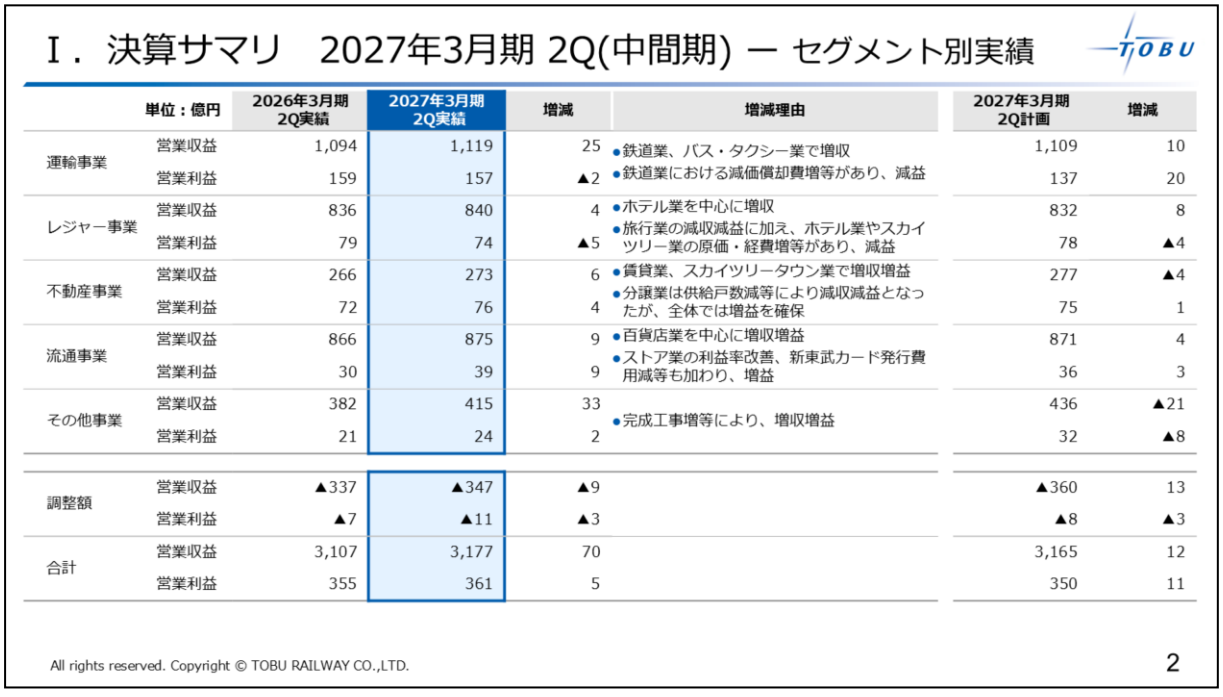
All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

1

１ページをご覧ください。第２四半期決算のサマリでございます。

2027年3月期 第２四半期決算でございますが、鉄道、ホテル、賃貸、百貨店を中心に堅調に推移し、売上を伸ばしたことなどにより、全体では、対前年・対計画ともに増収・営業増益となりました。

経常利益は、対前年で減益となりましたが、保有資産や政策保有株式の縮減を推進し、最終損益は対前年・対計画ともに増益を確保いたしました。



Ⅰ．決算サマリ　2027年3月期 2Q(中間期) ー セグメント別実績

	単位：億円	2026年3月期 2Q実績	2027年3月期 2Q実績	増減	増減理由	2027年3月期 2Q計画	増減
運輸事業	営業収益	1,094	1,119	25	●鉄道業、バス・タクシー業で増収	1,109	10
	営業利益	159	157	▲2	●鉄道業における減価償却費増等があり、減益	137	20
レジャー事業	営業収益	836	840	4	●ホテル業を中心に増収	832	8
	営業利益	79	74	▲5	●旅行業の減収減益に加え、ホテル業やスカイツリー業の原価・経費増等があり、減益	78	▲4
不動産事業	営業収益	266	273	6	●賃貸業、スカイツリータウン業で増収増益	277	▲4
	営業利益	72	76	4	●分譲業は供給戸数減等により減収減益となったが、全体では増益を確保	75	1
流通事業	営業収益	866	875	9	●百貨店業を中心に増収増益	871	4
	営業利益	30	39	9	●ストア業の利益率改善、新東武カード発行費用減等も加わり、増益	36	3
その他事業	営業収益	382	415	33	●完成工事増等により、増収増益	436	▲21
	営業利益	21	24	2		32	▲8
調整額	営業収益	▲337	▲347	▲9		▲360	13
	営業利益	▲7	▲11	▲3		▲8	▲3
合計	営業収益	3,107	3,177	70		3,165	12
	営業利益	355	361	5		350	11

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

次の２ページは、セグメント別に記載したサマリでございます。

詳細は、セグメント毎のページでご説明いたしますので、概要だけお話いたしますと、対前年では、運輸事業は減価償却費増などにより、またレジャー事業は旅行業の売上減などにより、増収減益となりましたが、不動産事業、流通事業、その他事業で増収増益となった結果、全業でも増収増益を確保いたしました。

また、対計画では、レジャー事業は悪天候の影響を受け、その他事業は建設業における工事進行の遅れなどにより、減益となりましたが、運輸事業、不動産事業、流通事業が堅調に推移したほか、鉄道業の費用繰延などもあり、全業では増収増益を確保いたしました。

Ⅰ．決算サマリ　2027年3月期 通期見通し

不動産事業、流通事業を中心に堅調に推移し、当初計画の営業収益・利益を確保
親会社株主に帰属する当期純利益も当初計画どおり増益見込み

- 鉄道業、賃貸業、スカイツリータウン業、百貨店業等において、営業収益は前年を上回る見込み。
- レジャー事業、その他事業における営業減益をカバーし、全業ベースでは、当初計画の営業収益・利益を確保。
- 支払利息の増等により経常利益は対前年で減益見込みであるー方、政策保有株式の縮減推進等により、親会社株主に帰属する当期純利益は、当初計画どおり増益見込み。

単位：億円	2026年３月期 実績	2027年３月期 見込	増減	2027年３月期 計画	増減
営業収益	6,554	6,730	176	6,730	-
営業利益	718	720	2	720	-
経常利益	688	635	▲53	635	-
親会社株主に帰属する当期純利益	556	560	4	560	-

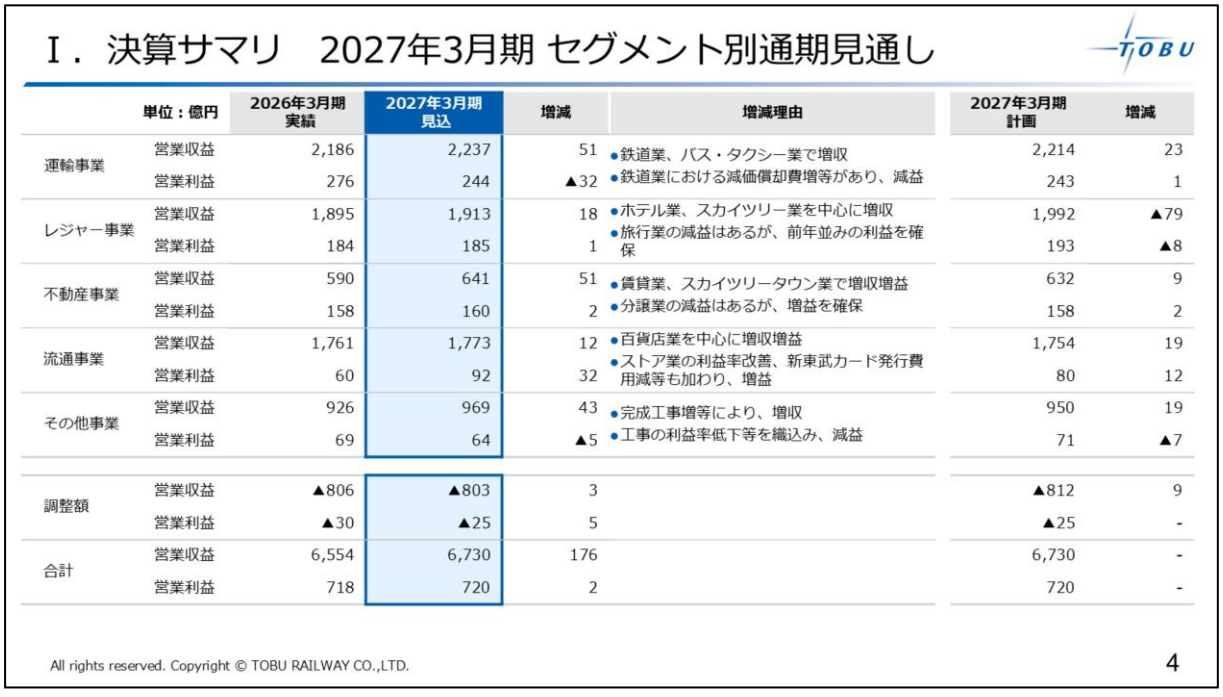
※2027年３月期計画は2026年４月30日公表ベース

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

3

続いて、３ページは、通期見通しのサマリでございます。

2027年3月期 通期見通しでございますが、下期においても、鉄道、賃貸、スカイツリータウン、百貨店を中心に堅調に推移し、当初計画どおりの営業収益、また利益を確保できる見通しでございます。



Ⅰ．決算サマリ　2027年3月期 セグメント別通期見通し

	単位：億円	2026年3月期 実績	2027年3月期 見込	増減	増減理由	2027年3月期 計画	増減
運輸事業	営業収益	2,186	2,237	51	●鉄道業、バス・タクシー業で増収	2,214	23
	営業利益	276	244	▲32	●鉄道業における減価償却費増等があり、減益	243	1
レジャー事業	営業収益	1,895	1,913	18	●ホテル業、スカイツリー業を中心に増収	1,992	▲79
	営業利益	184	185	1	●旅行業の減益はあるが、前年並みの利益を確保	193	▲8
不動産事業	営業収益	590	641	51	●賃貸業、スカイツリータウン業で増収増益	632	9
	営業利益	158	160	2	●分譲業の減益はあるが、増益を確保	158	2
流通事業	営業収益	1,761	1,773	12	●百貨店業を中心に増収増益	1,754	19
	営業利益	60	92	32	●ストア業の利益率改善、新東武カード発行費用減等も加わり、増益	80	12
その他事業	営業収益	926	969	43	●完成工事増等により、増収	950	19
	営業利益	69	64	▲5	●工事の利益率低下等を織込み、減益	71	▲7
調整額	営業収益	▲806	▲803	3		▲812	9
	営業利益	▲30	▲25	5		▲25	-
合計	営業収益	6,554	6,730	176		6,730	-
	営業利益	718	720	2		720	-

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

次の４ページは、セグメント別に記載したサマリでございます。

詳細は、セグメント毎のページでご説明いたしますので、概要だけお話いたしますと、対前年では、運輸事業は減価償却費増などにより、またその他事業は建設業における利益率低下などにより、増収減益となる見通しですが、レジャー事業、不動産事業、流通事業が増収増益となる見通しで、全業でも増収増益を確保できる見込みでございます。

対計画では、レジャー事業は上期の悪天候の影響などを織り込み、またその他事業は建設業における工事原価の上昇などを見込み、減益の計画とした一方、運輸事業、不動産事業、流通事業については、下期も堅調に推移することを見込み、営業収益、利益を上方修正した結果、全業では当初計画どおりの営業収益、また利益を確保できる見通しでございます。

Ⅱ． 2027年3月期 2Q(中間期)実績 ー 連結貸借対照表

単位：百万円	2026/3期末	2027/3期 2Q末	増減	備考
流動資産	194,787	208,469	13,681	
固定資産	1,668,775	1,676,672	7,896	
資産合計	1,863,562	1,885,141	21,578	
流動負債	475,985	472,740	▲3,245	
固定負債	765,350	758,517	▲6,832	
負債合計	1,241,335	1,231,257	▲10,077	
純資産合計	622,227	653,883	31,656	利益剰余金＋23,909
負債純資産合計	1,863,562	1,885,141	21,578	
自己資本比率	33.0%	34.3%	1.3P	
有利子負債残高	789,673	795,747	6,073	

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

続いて、５ページは、バランスシートの状況でございます。

前期末比でご説明いたします。

総資産につきましては、分譲用の棚卸資産の増加などにより、215億円の増加となりました。

負債につきましては、前年度末に竣工した工事代金を支払ったことなどにより、100億円の減少となっております。
最下段には、有利子負債残高の記載がございますが、60億円増加して、7,957億円となりました。

純資産につきましては、中間純利益の計上等に伴う利益剰余金の増加などにより、316 億円の増加となっております。

Ⅱ． 2027年3月期 2Q(中間期)実績 ー 運輸事業

単位：百万円	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績	増減	備考	2027/3期 2Q計画	増減
営業収益	109,402	111,995	2,593		110,900	1,095
鉄道	82,078	83,724	1,646		82,800	924
その他	27,323	28,270	946	バス・タクシー業＋964 貨物運送業 ▲14	28,100	170
営業利益	15,997	15,789	▲208		13,700	2,089
鉄道	13,773	13,763	▲9		11,600	2,163
その他	2,224	2,025	▲198	バス・タクシー業▲262 貨物運送業 ＋63	2,100	▲75

東武鉄道 旅客人員（単位：百万人）	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績	増減
定期	279	284	1.7%
定期外	166	171	2.9%
（特急）	3	3	1.6%
合計	445	455	2.1%

東武鉄道 旅客収入（単位：百万円）	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績	増減
定期	31,505	31,903	1.3%
定期外	43,230	44,330	2.5%
（特急）	3,655	3,772	3.2%
合計	74,736	76,234	2.0%

※定期外旅客収入は、特急料金、座席指定料金を含む。

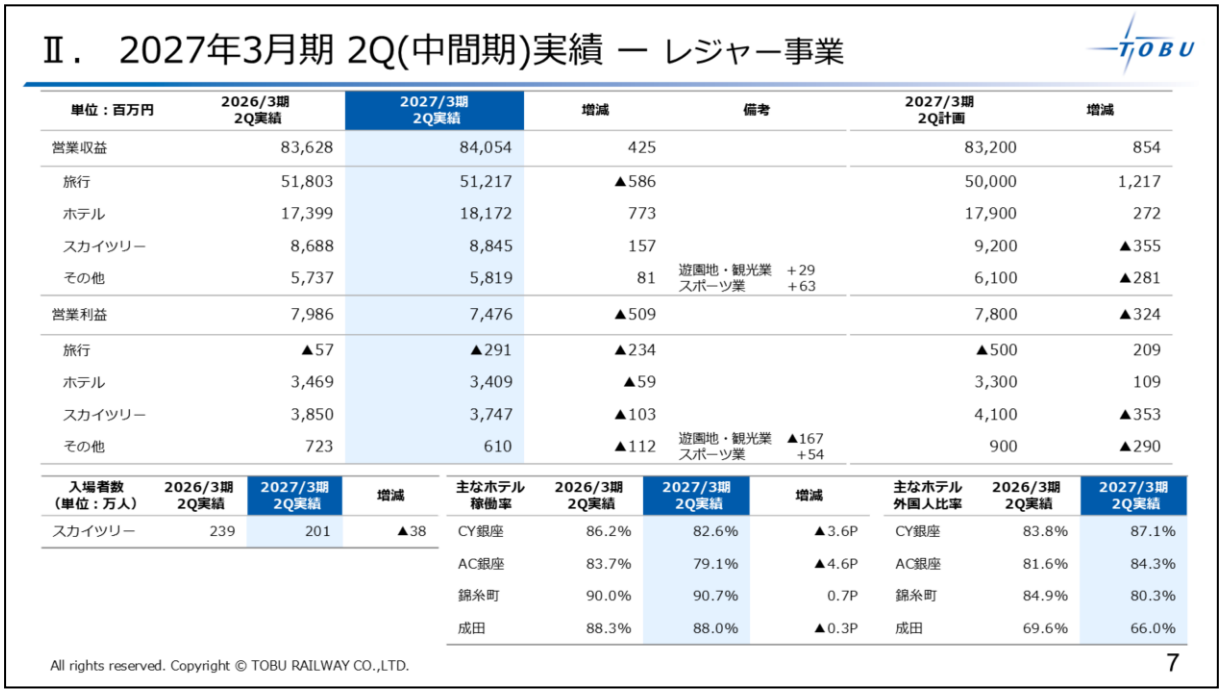
All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

６ページより、第２四半期決算の状況について、セグメント別にご説明いたします。

まず、運輸事業でございます。

鉄道業に関して、左下には、東武鉄道の旅客人員の記載もございますが、定期外・定期ともに堅調に推移いたしました。
定期外においては、長期の休みや土日を中心に、都内近郊や日光・鬼怒川への長距離のご利用が多く、また、定期においては、主に出社頻度の増加などにより通勤定期が堅調に推移いたしました。

対前年では、鉄道業が増収になったことに加え、バスの運賃改定効果などもあり、運輸事業全体でも増収を確保いたしましたが、減価償却費の増加などがあり、減益となっております。
また、対計画では、20億円の増益となっておりますが、修繕費などの実施時期のズレが主な要因でございます。



Ⅱ． 2027年3月期 2Q(中間期)実績 ー レジャー事業

単位：百万円	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績	増減	備考	2027/3期 2Q計画	増減
営業収益	83,628	84,054	425		83,200	854
旅行	51,803	51,217	▲586		50,000	1,217
ホテル	17,399	18,172	773		17,900	272
スカイツリー	8,688	8,845	157		9,200	▲355
その他	5,737	5,819	81	遊園地・観光業 +29 スポーツ業 +63	6,100	▲281
営業利益	7,986	7,476	▲509		7,800	▲324
旅行	▲57	▲291	▲234		▲500	209
ホテル	3,469	3,409	▲59		3,300	109
スカイツリー	3,850	3,747	▲103		4,100	▲353
その他	723	610	▲112	遊園地・観光業 ▲167 スポーツ業 +54	900	▲290

入場者数（単位：万人）	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績	増減
スカイツリー	239	201	▲38

主なホテル稼働率	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績	増減
CY銀座	86.2%	82.6%	▲3.6P
AC銀座	83.7%	79.1%	▲4.6P
錦糸町	90.0%	90.7%	0.7P
成田	88.3%	88.0%	▲0.3P

主なホテル外国人比率	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績
CY銀座	83.8%	87.1%
AC銀座	81.6%	84.3%
錦糸町	84.9%	80.3%
成田	69.6%	66.0%

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

7

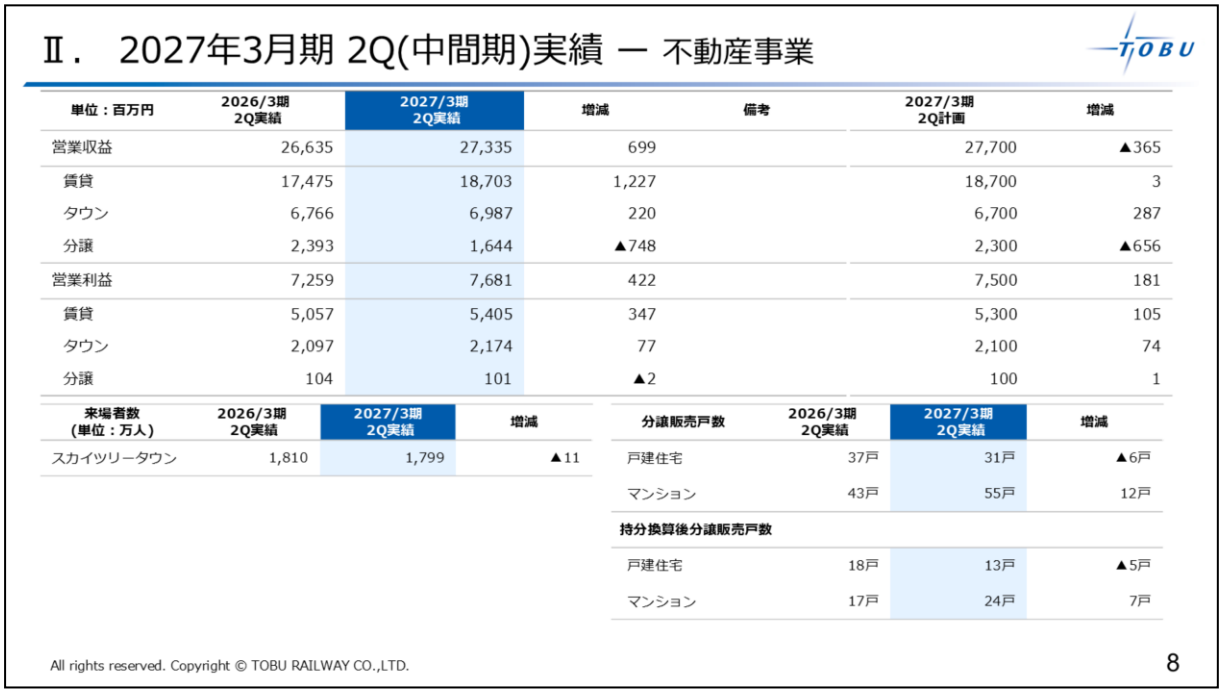
次の７ページは、レジャー事業でございます。

まず、旅行業に関しては、前年の大阪・関西万博需要の反動などにより、対前年で減収減益となりましたが、団体旅行や自治体からの受託が増加したことなどにより、対計画では増収増益となっております。

また、ホテル業においては、インバウンド需要を背景とした販売単価の上昇などにより増収となりましたが、人件費などの増加があり、対前年で若干の減益となりました。一方で、対計画では増収増益となっております。

スカイツリー業においては、台風など悪天候の影響を受け、左下に記載のとおり、入場者数が38万人減となりました。
その影響により対計画では減収減益となっておりますが、対前年では本年４月に導入した変動価格制が一定の効果をあげ、またイベント実施に伴う物販収入の増加などがあり、増収を確保いたしました。

それらの結果、レジャー事業全体では、対前年・対計画とも増収減益となりました。



Ⅱ． 2027年3月期 2Q(中間期)実績 ー 不動産事業

単位：百万円	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績	増減	備考	2027/3期 2Q計画	増減
営業収益	26,635	27,335	699		27,700	▲365
賃貸	17,475	18,703	1,227		18,700	3
タウン	6,766	6,987	220		6,700	287
分譲	2,393	1,644	▲748		2,300	▲656
営業利益	7,259	7,681	422		7,500	181
賃貸	5,057	5,405	347		5,300	105
タウン	2,097	2,174	77		2,100	74
分譲	104	101	▲2		100	1

来場者数（単位：万人）	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績	増減
スカイツリータウン	1,810	1,799	▲11

分譲販売戸数	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績	増減
戸建住宅	37戸	31戸	▲6戸
マンション	43戸	55戸	12戸
持分換算後分譲販売戸数			
戸建住宅	18戸	13戸	▲5戸
マンション	17戸	24戸	7戸

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

8

続いて、８ページは、不動産事業でございます。

まず、賃貸業では、駅ビルの売上増などに伴う賃貸収入増や、グループ会社の東武不動産における物件売却などがあり、対前年・対計画ともに増収増益となりました。

また、スカイツリータウン業においては、左下に記載のとおり、来場者数は減少したものの、インバウンド需要の取込みなどによる単価上昇があり、対前年・対計画ともに増収増益となっております。

分譲業は、対前年では前年に大型物件の販売があったことなどにより、また対計画ではマンションの引渡し時期のズレなどにより減収となりましたが、広告費の削減などに取り組み、前年並み、当初計画並みの利益を確保いたしました。

それらの結果、不動産事業全体では、対前年・対計画ともに増益となっております。

Ⅱ． 2027年3月期 2Q(中間期)実績 ー 流通事業

単位：百万円	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績	増減	備考	2027/3期 2Q計画	増減
営業収益	86,629	87,556	926		87,100	456
百貨店	30,836	31,811	975		30,400	1,411
ストア	37,425	36,259	▲1,165		36,400	▲141
その他	18,367	19,485	1,117		20,300	▲815
営業利益	3,008	3,942	933		3,600	342
百貨店	2,490	3,129	638		2,500	629
ストア	508	584	76		600	▲16
その他	9	228	218		500	▲272

主要百貨店 売上増減率	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績
池袋	10.6%	4.1%
船橋	0.7%	1.2%
宇都宮	0.3%	▲0.1%

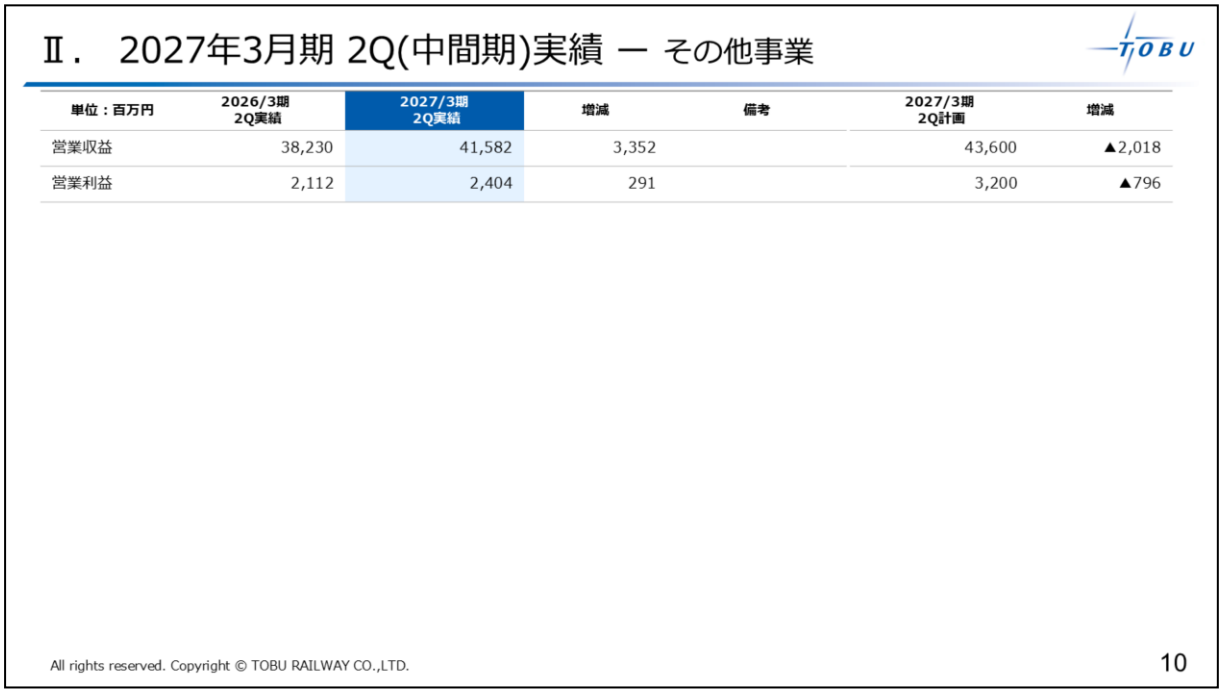
All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

次の９ページは、流通事業でございます。

まず、百貨店業では、リビングや子供関係のフロア改装、ＭＤ強化によるインバウンド需要の取込みなどにより、対前年・対計画ともに増収増益となりました。

また、ストア業では店舗閉鎖により対前年で減収となりましたが、既存店の改装効果や閉鎖に伴う費用削減効果などにより、前年並み・計画並みの営業利益を確保いたしました。

それらに流通その他業を加えた流通事業全体では、対前年・対計画ともに増収増益となりました。



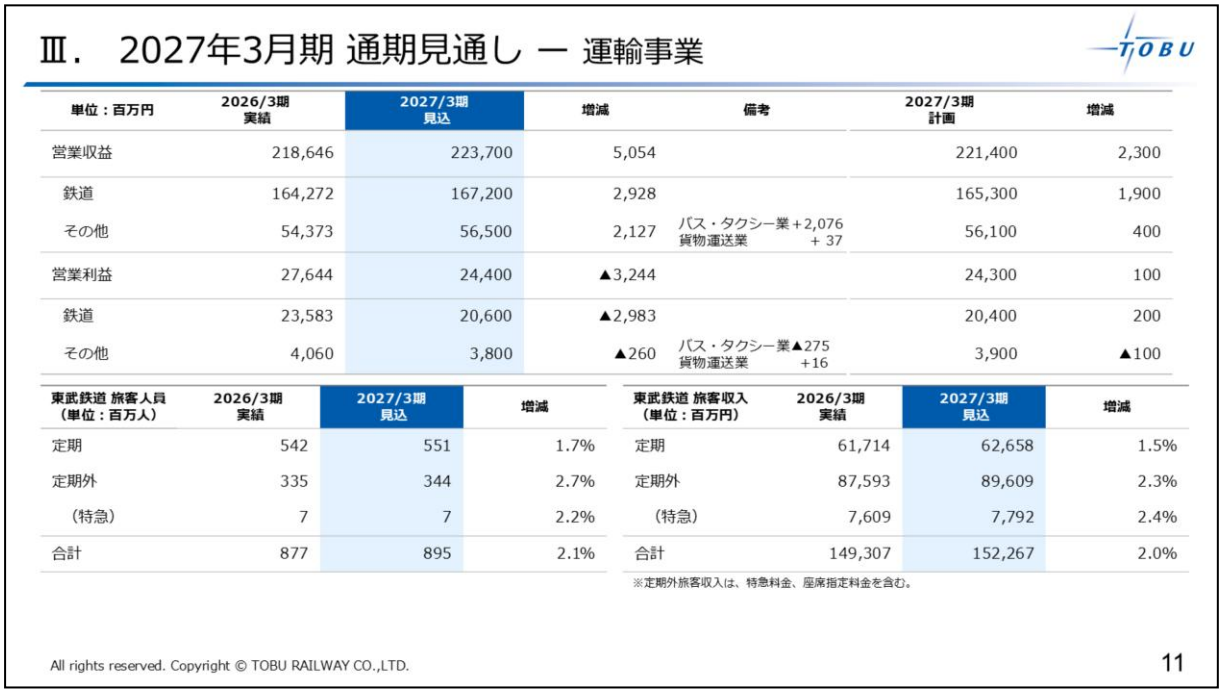
Ⅱ． 2027年3月期 2Q(中間期)実績 ー その他事業

単位：百万円	2026/3期 2Q実績	2027/3期 2Q実績	増減	備考	2027/3期 2Q計画	増減
営業収益	38,230	41,582	3,352		43,600	▲2,018
営業利益	2,112	2,404	291		3,200	▲796

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

続いて、10ページは、その他事業でございます。

対前年では建設業における完成工事の増加などにより、増収増益となりました。
一方、対計画では、工事進行の遅れや工事原価の上昇などにより、減収減益となっております。



Ⅲ． 2027年3月期 通期見通し ー 運輸事業

単位：百万円	2026/3期 実績	2027/3期 見込	増減	備考	2027/3期 計画	増減
営業収益	218,646	223,700	5,054		221,400	2,300
鉄道	164,272	167,200	2,928		165,300	1,900
その他	54,373	56,500	2,127	バス・タクシー業+2,076 貨物運送業 + 37	56,100	400
営業利益	27,644	24,400	▲3,244		24,300	100
鉄道	23,583	20,600	▲2,983		20,400	200
その他	4,060	3,800	▲260	バス・タクシー業▲275 貨物運送業 +16	3,900	▲100

東武鉄道 旅客人員（単位：百万人）	2026/3期 実績	2027/3期 見込	増減
定期	542	551	1.7%
定期外	335	344	2.7%
（特急）	7	7	2.2%
合計	877	895	2.1%

東武鉄道 旅客収入（単位：百万円）	2026/3期 実績	2027/3期 見込	増減
定期	61,714	62,658	1.5%
定期外	87,593	89,609	2.3%
（特急）	7,609	7,792	2.4%
合計	149,307	152,267	2.0%

※定期外旅客収入は、特急料金、座席指定料金を含む。

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

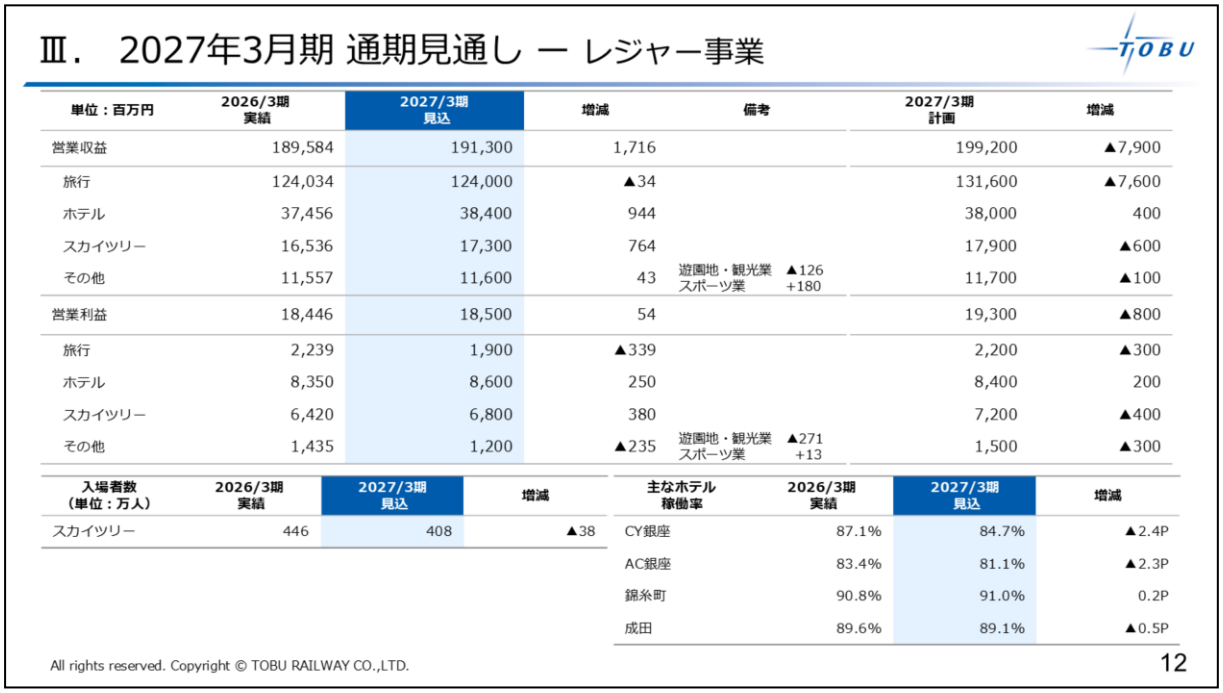
11

11ページからは、セグメント別の通期見通しでございます。

まず、運輸事業でございます。

鉄道業でございますが、左下に記載の東武鉄道の旅客人員は、下期においても、定期・定期外とも当初計画を上回る想定をしており、堅調な輸送需要が継続する見込みでございます。

その結果、右側に記載の対計画では、運輸事業全体として増収増益を見込んでおります。



Ⅲ． 2027年3月期 通期見通し ー レジャー事業

単位：百万円	2026/3期 実績	2027/3期 見込	増減	備考	2027/3期 計画	増減
営業収益	189,584	191,300	1,716		199,200	▲7,900
旅行	124,034	124,000	▲34		131,600	▲7,600
ホテル	37,456	38,400	944		38,000	400
スカイツリー	16,536	17,300	764		17,900	▲600
その他	11,557	11,600	43	遊園地・観光業 ▲126 スポーツ業 +180	11,700	▲100
営業利益	18,446	18,500	54		19,300	▲800
旅行	2,239	1,900	▲339		2,200	▲300
ホテル	8,350	8,600	250		8,400	200
スカイツリー	6,420	6,800	380		7,200	▲400
その他	1,435	1,200	▲235	遊園地・観光業 ▲271 スポーツ業 +13	1,500	▲300

入場者数（単位：万人）	2026/3期 実績	2027/3期 見込	増減
スカイツリー	446	408	▲38

主なホテル 稼働率	2026/3期 実績	2027/3期 見込	増減
CY銀座	87.1%	84.7%	▲2.4P
AC銀座	83.4%	81.1%	▲2.3P
錦糸町	90.8%	91.0%	0.2P
成田	89.6%	89.1%	▲0.5P

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

12

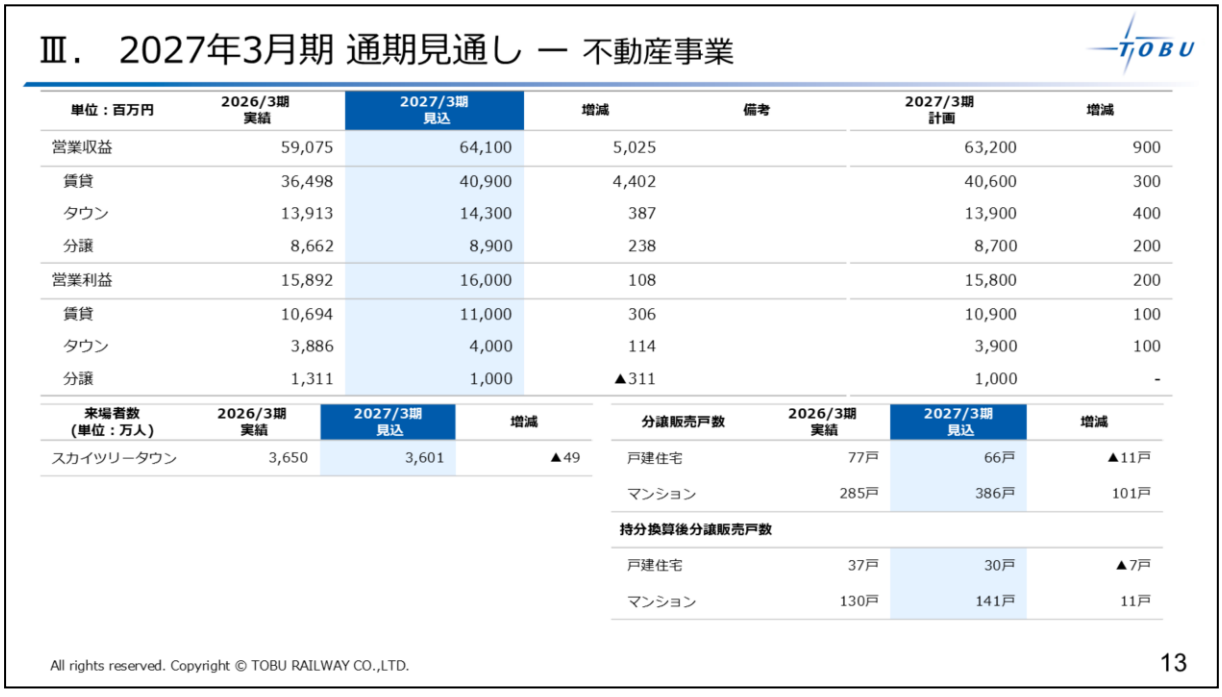
次に、12ページは、レジャー事業でございます。

旅行業では、足元の旅行需要や自治体からの受託状況などを踏まえ、営業収益について前年並みになるものと想定し、対計画では減収減益としております。

ホテル業では、下期においてもインバウンドを中心にしっかり需要を取込み、販売単価の上昇を図るなど、対前年・対計画とも増収増益となる見込みです。

スカイツリー業では、左下に記載のとおり、上期の悪天候の影響や入場者の動向に基づき、入場者数想定を見直しております。
それに伴って、対計画では減収減益となる見込みですが、対前年では変動価格制導入効果などにより増収増益になる見通しです。

レジャー事業全体としては、対計画で減収減益としておりますが、対前年では増収、前年並みの利益を確保できる見通しとなっております。



Ⅲ． 2027年3月期 通期見通し ー 不動産事業

単位：百万円	2026/3期 実績	2027/3期 見込	増減	備考	2027/3期 計画	増減
営業収益	59,075	64,100	5,025		63,200	900
賃貸	36,498	40,900	4,402		40,600	300
タウン	13,913	14,300	387		13,900	400
分譲	8,662	8,900	238		8,700	200
営業利益	15,892	16,000	108		15,800	200
賃貸	10,694	11,000	306		10,900	100
タウン	3,886	4,000	114		3,900	100
分譲	1,311	1,000	▲311		1,000	-

来場者数（単位：万人）	2026/3期 実績	2027/3期 見込	増減
スカイツリータウン	3,650	3,601	▲49

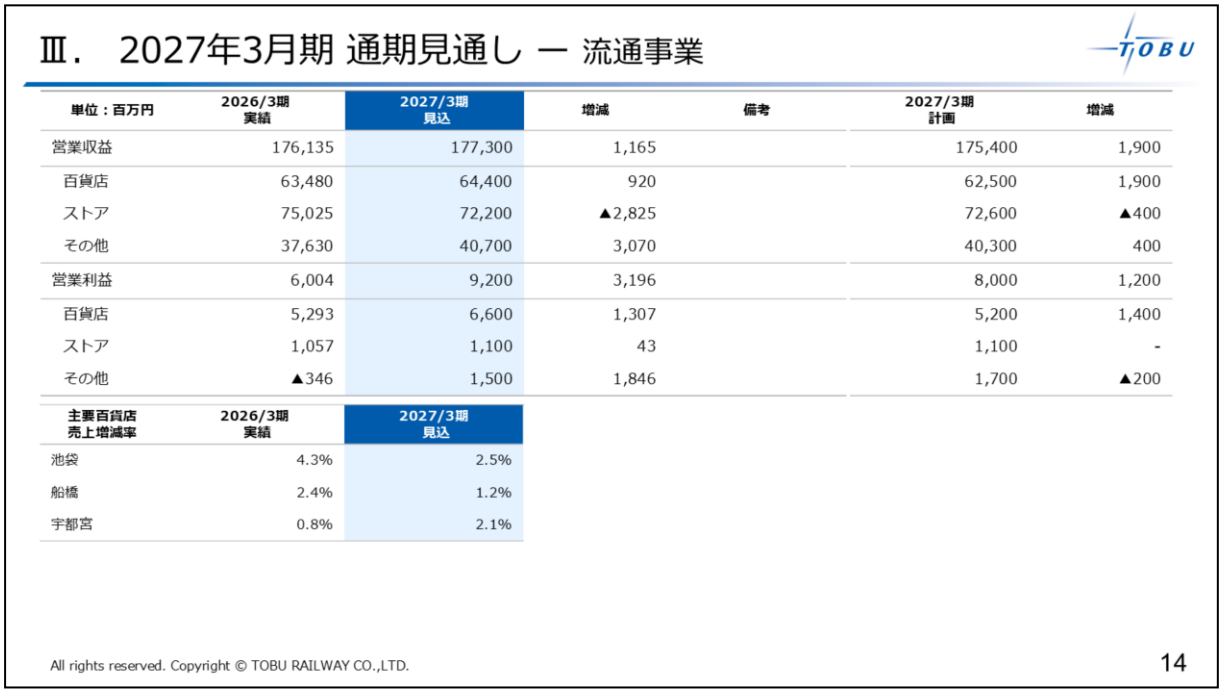
分譲販売戸数	2026/3期 実績	2027/3期 見込	増減
戸建住宅	77戸	66戸	▲11戸
マンション	285戸	386戸	101戸
持分換算後分譲販売戸数			
戸建住宅	37戸	30戸	▲7戸
マンション	130戸	141戸	11戸

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

13

続いて、13ページは、不動産事業でございます。

賃貸業やスカイツリータウン業において下期も好調を維持することに加え、分譲業においてもマンションの販売戸数増などを見込み、不動産事業全体では、対前年・対計画ともに増収増益を計画しております。



Ⅲ． 2027年3月期 通期見通し ー 流通事業

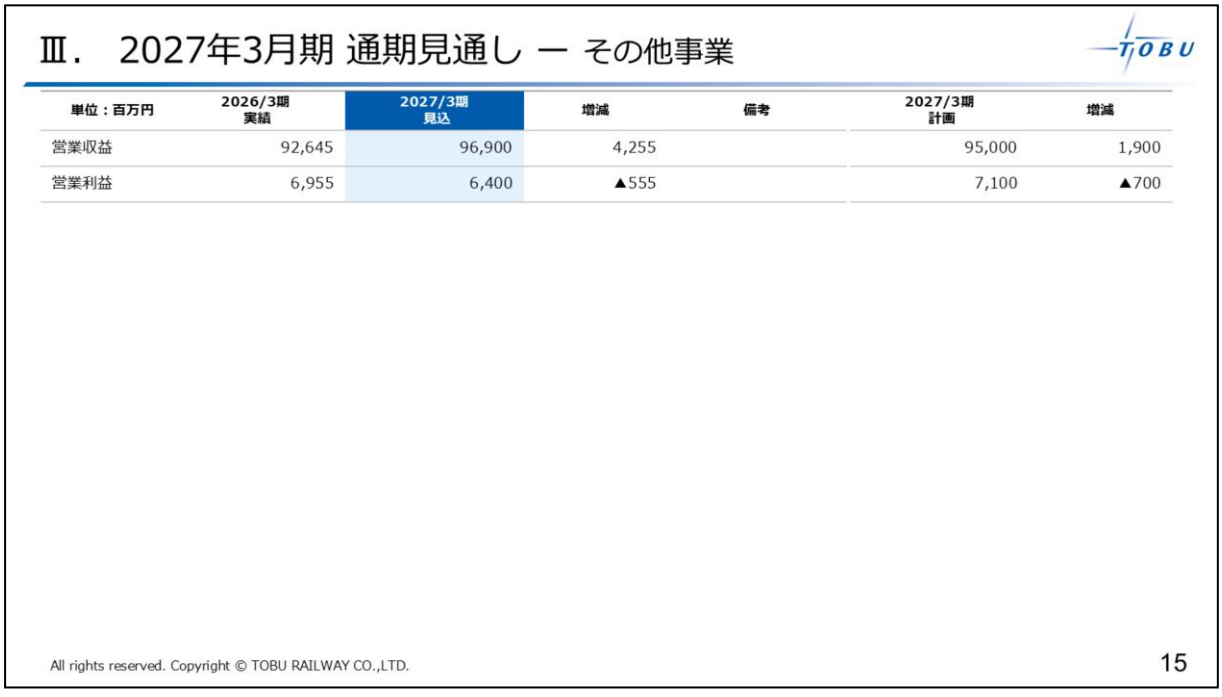
単位：百万円	2026/3期 実績	2027/3期 見込	増減	備考	2027/3期 計画	増減
営業収益	176,135	177,300	1,165		175,400	1,900
百貨店	63,480	64,400	920		62,500	1,900
ストア	75,025	72,200	▲2,825		72,600	▲400
その他	37,630	40,700	3,070		40,300	400
営業利益	6,004	9,200	3,196		8,000	1,200
百貨店	5,293	6,600	1,307		5,200	1,400
ストア	1,057	1,100	43		1,100	-
その他	▲346	1,500	1,846		1,700	▲200

主要百貨店 売上増減率	2026/3期 実績	2027/3期 見込
池袋	4.3%	2.5%
船橋	2.4%	1.2%
宇都宮	0.8%	2.1%

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

次に、14ページは、流通事業でございます。

百貨店業の業績好調を受け、対前年・対計画ともに増収増益を見込んでおります。
特に、対前年では、前年発生した新東武カード発行に係る一時的な費用の剥落などにより、大幅な増益となる見込みです。



続いて、15ページは、その他事業でございます。

建設業における受注工事に関し、完成工事は増加するものの、工事原価の上昇などを織り込み、対前年・対計画とも増収減益としております。

最後になりますが、足元では、鉄道、ホテル、スカイツリータウン、百貨店を中心に、今回見直しました計画どおり堅調に推移し、またスカイツリーの入場者数も10月は前年を上回る水準で推移しております。
足元の状況が継続すれば、運輸事業、不動産事業、流通事業における増益により、レジャー事業やその他事業の減益をカバーし、当初計画における営業利益を確保できるものと考えております。

以上で、2027年3月期 第2四半期決算および通期見通しの説明を終わらせていただきます。

ご清聴、ありがとうございました。

appendix～参考情報～

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

2027年3月期 2Q(中間期)実績 ー 連結子会社・持分法適用会社数

連結子会社数	2026.3	増加	減少	2026.9	備考
運輸事業	27	-	3	24	2026.4　東武インターテック㈱、東武エンジニアリング㈱、東武ステーションサービス㈱ 東武鉄道㈱への吸収合併による減
レジャー事業	14	-	-	14	
不動産事業	3	-	-	3	
流通事業	8	-	-	8	
その他事業	16	-	-	16	
合計	68	-	3	65	

持分法適用会社数	2026.3	増加	減少	2026.9	備考
運輸事業	1	-	-	1	
レジャー事業	2	-	-	2	
不動産事業	-	-	-	-	
流通事業	-	-	-	-	
その他事業	-	-	-	-	
合計	3	-	-	3	

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

2027年3月期 2Q(中間期)実績 ー 四半期別実績

単位：百万円		2027/3期 1Q実績	2027/3期 2Q実績	2027/3期 2Q累計実績
運輸事業	営業収益	56,117	55,878	111,995
	営業利益	10,262	5,527	15,789
レジャー事業	営業収益	38,648	45,406	84,054
	営業利益	3,831	3,644	7,476
不動産事業	営業収益	13,872	13,463	27,335
	営業利益	3,871	3,809	7,681
流通事業	営業収益	44,304	43,252	87,556
	営業利益	2,390	1,552	3,942
その他事業	営業収益	19,006	22,576	41,582
	営業利益	1,179	1,224	2,404
調整額	営業収益	▲15,655	▲19,098	▲34,754
	営業利益	▲517	▲643	▲1,161
合計	営業収益	156,292	161,477	317,769
	営業利益	21,017	15,115	36,132

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.

当該資料に関する注意事項

この配布資料に記載されている利益等の計画値については、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通し等、国内および諸外国の経済状況その他業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報を基にした予想を前提としています。

従って、実際の業績は経営環境等の変化に伴い、この配布資料に記載されている計画値とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

All rights reserved. Copyright © TOBU RAILWAY CO.,LTD.